

令和5年度 環境で地域を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：福岡県みやま市

活動地域：福岡県みやま市

活動におけるテーマ

『地域で創る、選ばれる環境田園都市』

本事業への関わり：1年目

# 活動団体と地域の紹介

活動地域：福岡県みやま市

(福岡県と熊本県の県境に位置する市)

人口：35,191人（合併時43,631人）

世帯数：14,594戸（〃13,873世帯）

（2023.3月末現在）

面積：105.21km<sup>2</sup>

耕地面積：4,000ha

農地面積割合：38.6%



活動団体：みやま市(環境衛生課)

ごみ焼却施設の更新を機に、バイオマスセンターを建設し、地域の未利用資源である生ごみ・し尿等を原料に、肥料と電力を生み出し、新焼却場のコスト・CO2排出量・農業経費の削減を実現した。

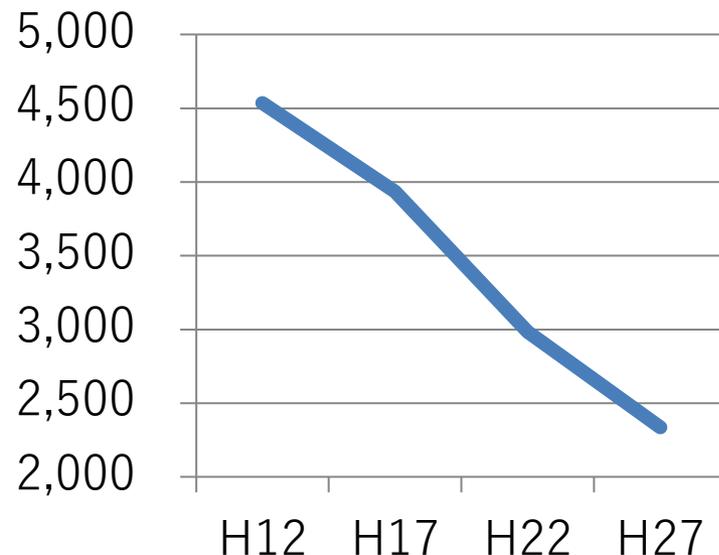


# 活動団体と地域の紹介

## みやま市の課題（1）

### 農業の後継者不足

- ・市内の生産年齢人口における農業者数は775名（農業者の32.3%）
- ・市の農地面積38.6%の管理する
- ・農業産出額124億円、食料品生産額250億円（地域生産額割合25.7%）の基幹産業の維持



## みやま市の課題（2）

### 低水準な地域経済循環率

	みやま市	八女市	柳川市	大牟田市	福岡県
2018年	61.6%	77.5%	69.7%	99.8%	92.0%

- ・生産（付加価値額）の低さと、エネルギー支出による地域資金の域外流出

# 活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して  
解決したい地域の課題

- ・ 農業者の後継者不足
- ・ エネルギー支出による  
地域資金の域外流出
- ・ 先進的環境事業の有効活用

地域の課題が解決された状態

選ばれる環境田園都市になる！  
地域で生まれた再エネを、農業・住宅に活用することで、ライフサイクルコストの低い、且つ高収益な農業が実現できるまちを目指す。また、これらの取組・効果を発信することで移住地・営農地・視察先地等に“選ばれる”まちになる。

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）“選ばれる環境田園都市”の実現に向けて、以下の3つの事業に関係しうる事業者と市関連部署が、事業実現に向けた学習・調査・提案・意見交換ができるプラットフォームを形成する。

- ・ 再エネの農業利用・・・（例）農作物の調整施設のZEB化
- ・ 再エネの住宅利用・・・（例）新規住宅団地のZEH住宅群化
- ・ 環境コンテンツ利用・・・（例）先進的環境事業の情報発信及び環境学習ツアー創出

# 目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

## 現時点での体制

みやま市  
(環境衛生課・エネルギー政策課)

みやまスマートエネルギー株式会社

再エネ関連有識者  
(APU・九州電技開発(株)等)

現時点では、申請主体の

- ・みやま市環境衛生課
- ・みやま市エネルギー政策課

みやまスマートエネルギー株式会社を中心に、

- ・再エネの農業利用
- ・再エネの住宅利用
- ・環境事業のコンテンツ利用

に関する関係者を

再エネ関連有識者の協力を得て、  
巻き込んでいきます。

足りない資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ・ビジョンの共有・職員及び地元事業者のオーナーシップ・地元事業者同士の結びつき
- ・再エネ（主に木質バイオマス）発電及び熱利用設備や電動農機の見識
- ・再エネ（主に木質バイオマス）発電及び熱利用設備設置に係る資金
- ・環境学習ツアー実施のノウハウ及び人材

# 年間スケジュール

